



おうち

テーマ

自分でやるよ

第31号
2017.9

私が小学校六年生の時です。修学旅行先の旅館で、布団敷きの手伝いを買って出たことがあります。「人の役に立ちたい」という気持ちはありましたが、「早く終わらせて友達と遊びたい」という気持ちもあつたように思います。布団を敷き終えた時、従業員さんが、「ありがとう」と声をかけてくださいました。翌日、バスの中で、「いいことをしたね」と先生にほめていただきました。従業員さんが、先生に話してくださいました。旅館の御主人にも、「この学校は、すばらしい学校だ」とほめていただいたそうです。自分たちのしたこと、学校全体がほめられたことに少し驚きましたが、心からうれしいと思いました。自らの意思で行動したことが、誰かに認めてもらえるということは、実に誇らしいことであるということを実感しました。今でも心に深く残る思い出です。

自分が親になつてから、子どもが自立したなあと感じたのは、今日から一人で風呂に入るから大丈夫と息子が宣言した時です。少々寂しさもありましたが、このような形で、自立の一步を表現した息子を頼もしいと思いました。

自分の子育てを振り返ってみると、私は、仕事の合間を縫って、できるだけ子どもと同じ時を過ごしながら会話を楽しみ、応援してきました。夏休みに、息子とホームセンターに買い物に行き、いろいろな話をしながら鳥の巣箱を一緒に作ったこと

もありました。部活動の試合にはできるだけ応援に行き、夕食をとりながら、楽しかったことや悔しかったことなどについて語り合いました。家以外の場所でも、子どもと同じ目的を持って、同じ場所で同じ時間を過ごすことができたことは、私のその後の人生を豊かにしてくれた宝物です。

人は誰しも、心の中に思い出をしまつ「袋」を持っています。子育て時代は、その「袋」の中に、子どもと一緒に過ごして楽しかった時間や経験などをギッシリ詰め込むことができる時代です。仕事も子育ても一生懸命やらなければならぬ大変な時ですが、人生で最も充実し、子どもと一緒に自分も成長できる時代だと思います。よく「子を持つて知る親の恩」と言われますが、私も子育てをしながら親のありがたみにも気付かされました。子育て真っ只中のお父さん、お母さんは多忙な毎日を送っていることでしょう。でも、今しかないこの輝いている時を大切に、子どもとともに成長してほしいと思います。

幸いにも、栃木県は豊かな自然環境に恵まれています。栃木県の子どもたちには、この自然環境を生かして存分に野山を駆け回り、感性を磨き、強さや優しさを身に付け、心身ともに健康に育つてほしいと願っています。私たち大人は、そのような子どもたちを温かく見守り、認めていくことが大切なのではないかと思っています。



「たまいれ」

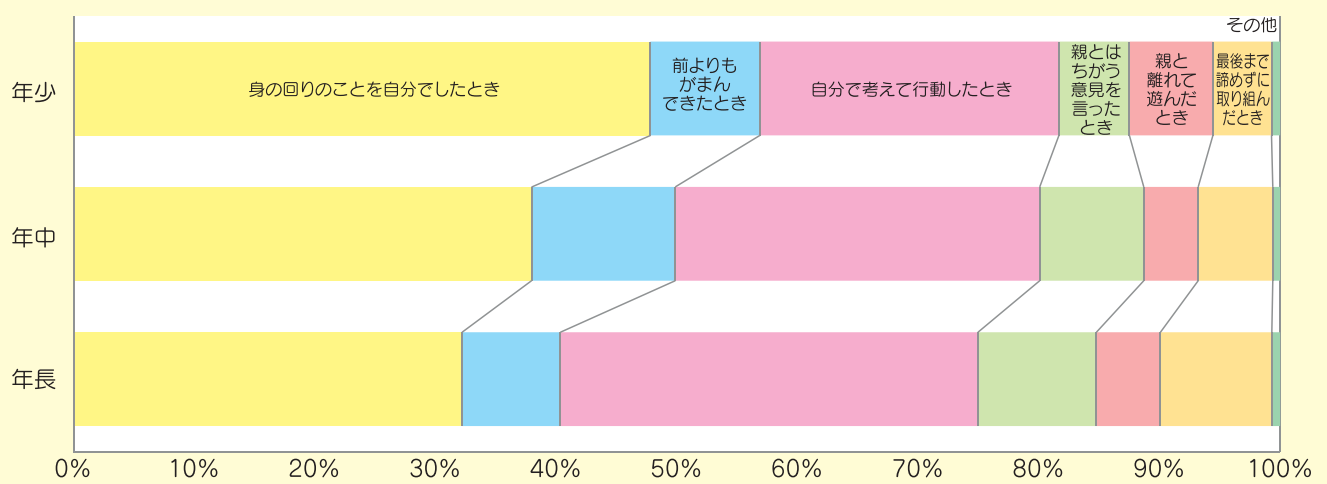


アンケート 「自分でやるよ」

(対象:県内の年少・年中・年長の子をもつ保護者 回答数3,920:年少 1,429 年中1,302 年長 1,189)

Q1

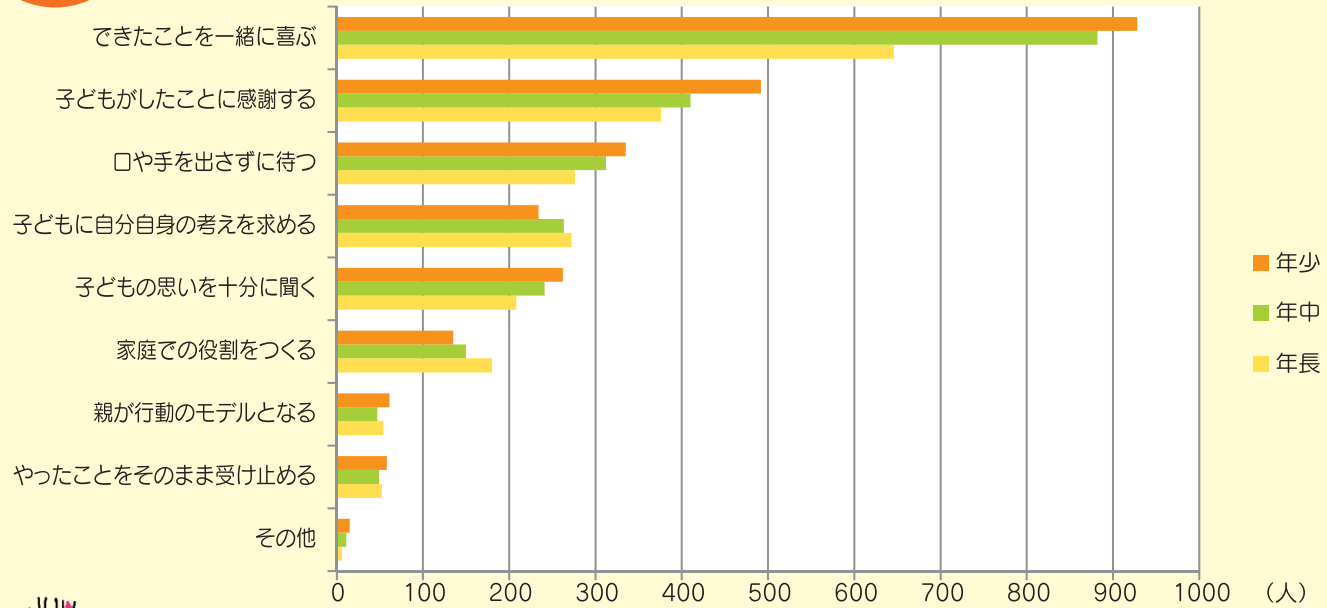
「うちの子、自立してきたな～」と感じるのは、どんなときですか？
(1つ回答)



年少の保護者は、「身の回りのことを自分でしたとき」に、子どもが自立してきたと感じる人が多いけれど、年長になると「自分で考えて行動したとき」や「最後まで諦めずに取り組んだとき」に自立してきたと感じる人が多くなるんですね。ピヨッ!

Q2

「自立心」を育てるために、大切にしていることは何ですか？
(2つ回答)



どの年齢も、「できたことを一緒に喜ぶ」や「子どもがしたこと感謝する」など、子どもの行動を認める項目を選んだ保護者が多かったです。ピヨッ!



ガマンガマン…

朝、自分で服を選ぶようになりましたが、いつも同じ服を選ぶので困っています。お気に入りなのかなあ？

(太陽幼稚園年少保護者)

応援してるよ!



息子は大のブロック好き。つい最近まで、思いどおりにならないと「できな〜い!」と言って投げ出していたのに、こここのころ、半ベソをかきながらも最後まで完成させるようになりました。完成したときの喜びを知ったからなのかな？

(認定こども園愛泉幼稚園年中保護者)

「自分でやりたい気持ち」を大切に…

(「自分でやるよ」に関するエピソードより)



ありがとう

急いでいるときに限って「自分でやる」と言います。ついイライラしてしまいますが、親が忙しそうな姿を見て「自分でやらなくちゃ」と思うのでしょうか。子どもなりの優しさなのかもしれません。

(栃木市大平南第2保育園年少保護者)

いつの間にか…



娘が3歳になったころから、おままごとの延長で、一緒に夕食作りを楽しんできました。年長になった今では、家族の分まで50個の餃子を作ってくれます。「上手だね」とほめると「上手じゃないけどね」と照れくさそうに笑う娘。娘が作ってくれる餃子が大好きです。

(うつのみやこども園石川幼稚園年長保護者)



園ではどうしてるの?

日頃から、園で大切にしていることをインタビューしてみました。

3歳児

子どもの言葉や行動の先回りをしないようにしています。大人はいつも見ていてくれると、子どもが思ってくれるよう心掛けています。

下野市立グリム保育園
坂口 千春 保育士



4歳児

うまくいなくても、やりたい気持ちに共感し、「失敗しても大丈夫」という安心感を持てるようにしています。

作新学院幼稚園
菊地 俊 教諭



5歳児

大人が決めずに、子どもが自分で考えて工夫したり、繰り返し挑戦したりする姿を見守り、支えるようにしています。

那珂川町立
なかのご認定こども園
高瀬 弘 保育教諭



ぴよちゃんの応援メッセージ

子どもは、自分で考えて行動したことを大人に認めてもらえることで、安心感と自信を持つことができます。その安心感と自信が心の支えとなり、「自分でやってみよう」という思いを持って行動するようになります。そのような子どもの姿を見てみると、親から離れていってしまうようで寂しいと感じるかもしれませんが、温かく見守りながら、立派に自立していく過程を子どもと一緒に楽しみ、応援してみませんか。

ピヨッ!



お手伝い大好き!



和食の配膳に
チャレンジしてみよう!



お手伝いを
お願いします!



はい!

森田 浩子
栃木県幼児教育センター長



お箸の置き方は?



箸先を左側へ



ご飯とお味噌汁の位置は?



お味噌汁は右

ご飯は左



お魚の向きは?



切り身のときは
皮を奥側へ

頭がついているときは
頭が左、お腹が手前

「一汁三菜」とは、ご飯と汁物、肉や魚などの主菜1品、野菜・海藻・豆類などの副菜2品の栄養バランスがとれた和食の伝統的な献立です。



最後に煮物や
お漬物を添えて



いただきます!
お手伝いありがとう
ございました!

和食の基本「一汁三菜」の出来上がり!

「栃木子どもの本連絡会」から

おすすめの1冊

「ラチとらいおん」福音館書店

(マレーク・ペロニカ / ぶん・え とくなが やすもと / やく)

ラチは弱虫な男の子。犬を見ると逃げ出し、暗い部屋には怖くて入れません。ところがある朝、小さな赤いらいおんがやって来て、ラチを強くしてくれることに…。一人で一歩踏み出そうとする子どもを描いた楽しい絵本です。



「栃木子どもの本連絡会」は「子どもに読書のよろこびを」をテーマに1979年から活動しています。興味のある方は、ぜひHPを御覧ください。 <http://tochiko.holy.jp>



栃木子どもの本連絡会副会長
おはなしと人形劇のまざあぐうす代表
大音 由里さん



家庭教育ホットライン(保護者専用)

(ひとりでも) なやむな

TEL028-665-7867

受付時間 月～金曜日 午前8:30～午後9:30
土曜日 午前8:30～午後5:30

(日曜祝日、年末年始等は留守番電話・FAXでの受付となります。)

保護者のみなさん! お子さんの育児、子育て、しつけ等家庭教育のことや友達、いじめ等対人関係のことなどで困っていること、悩んでいることはありませんか?

秘密は絶対に守ります! 一人で悩まず気軽に御相談ください!

メール相談はこちら

パソコン <http://www.hothotmail.jp>
携帯・スマホ <http://www.hothotmail.jp/m.html>



栃木県幼児教育センター情報誌「おうち」第31号 平成29年9月4日発行

発行者 栃木県総合教育センター幼児教育部
(栃木県幼児教育センター)
URL: <http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/youji/>
*バックナンバーはホームページで読むことができます。

〒320-0002 宇都宮市瓦谷町1070
TEL:028-665-7215 FAX:028-665-7216
E-MAIL: yokyo-c@tochigi-edu.ed.jp



マスクット びよちゃん